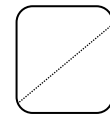


単語 呼応の副詞 文を作る ③



次の呼応の副詞つぎ こおう ぶくしを使って、文を作りましょう。

(例) 「けっして〜ない」

どんなことがあっても、わたしは**けっしてあきらめない**。

① 「まったく〜ない」

② 「なぜ〜か」

③ 「たぶん〜だろう」

④ 「たとえ〜ても」

⑤ 「どうか〜ください」

解答例

- ① 窓ガラスが割れたことには、彼はまったく関係がない。
- ② 明日はテストなのに、なぜ勉強しないのか。
- ③ 明日の試合は、たぶん勝つだろう。
- ④ たとえ雨が降っても、遠足には行きます。
- ⑤ どうか家の中へお入りください。